



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場会社名 株式会社サガミチェーン 上場取引所 東・名
 コード番号 9900 URL http://www.sagami.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 敏行
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 伊垣 政利 (TEL) 052-771-2126
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	19,631	0.4	783	△8.1	839	△6.2	557	△4.2
28年3月期第3四半期	19,545	2.5	852	104.2	895	89.2	581	120.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 727百万円(18.2%) 28年3月期第3四半期 615百万円(48.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	21.09	—
28年3月期第3四半期	21.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	18,679	13,815	74.0
28年3月期	18,852	13,390	71.0

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 13,814百万円 28年3月期 13,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	0.4	900	2.7	950	3.8	550	7.1	20.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、【添付書類】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	26,501,784株	28年3月期	26,501,784株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	15,289株	28年3月期	14,723株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	26,429,487株	28年3月期3Q	26,482,533株

(注) 「株式給付信託(BBT)」制度に関する資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりますが、上記自己株式に含まれておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日)におけるわが国経済は、円高・株安が進行し企業業績を圧迫しましたが、11月の米国大統領選後は円安・株高傾向が顕著になり業績改善の兆しがみられました。雇用環境は改善傾向にあり、実質賃金も緩やかに改善しておりましたが、個人消費の回復には至っておりません。

外食産業につきましても、労働需給の逼迫により人件費は上昇し、消費者の低価格志向も増大しております。また、高齢化や生活環境の変化による中食需要の一層の高まりを受け、小売業を巻き込んだ食市場の争奪戦となっており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座をグループ全社で堅持しながら、店舗の改革を進めると共に、当社ビジョン「No.1 Noodle Restaurant Company」を共有し、①事業基盤の強化②収益力の向上③成長戦略の推進を柱に取り組みでまいりました。

<各事業部門>

(a) 和食麺類部門

和食麺類部門では、当社主力業態である和食麺処「サガミ」において、全店販売促進企画として「料理フェア」を5回実施し、お客様大感謝祭を2回、クーポン配布企画を3回実施したほか、「こだわりテレビCM」を愛知県・三重県・岐阜県・富山県・奈良県・滋賀県で6回、静岡県で2回放映いたしました。これにより既存店客数は前年同一期間に対して1.6%減、客単価が前年同一期間に対して2.8%増となり、既存店売上高は前年同一期間に対して1.2%増となりました。

店舗関係では、「濱町 厚木文化会館前店」を和食麺処「サガミ 厚木文化会館前店」(5月)に、「濱町 座間店」を和食麺処「サガミ 座間店」(6月)に「濱町 金沢文庫店」を和食麺処「サガミ 金沢文庫店」(9月)に業態転換いたしました。

なお、当第3四半期末の店舗数は132店舗となりました。

(b) 味の民芸部門

味の民芸部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を8回実施したほか、お客様大感謝祭を1回実施し、「スクラッチ企画」を7回実施いたしました。

店舗関係では、「味の民芸 新宿フロントタワー店」(5月)を閉鎖いたしました。

なお、当第3四半期末での店舗数はFC店舗を含み55店舗であります。

(c) どんどん庵部門

どんどん庵部門では、「どんどん庵」において、全店販売促進企画として「料理フェア」を8回実施したほか、「どんどん祭」を2回実施いたしました。

店舗関係では、「どんどん庵 桜通大津店」(12月)を閉鎖いたしました。

なお、当第3四半期末での店舗数はFC店舗を含み35店舗であります。

(d) その他の部門

その他の部門では、団欒食堂「あいそ家」において、「割引券配布企画」を6回、お客様大感謝祭を1回実施したほか、大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「割引券配布企画」を6回、お客様大感謝祭を1回実施いたしました。

国内店舗関係では、「サガミ 健やか食堂」(4月)を大府市役所に、「さがみ庭 キャッスルプラザ店」(7月)を名古屋駅前のホテルキャッスルプラザに出店し、「どんどん庵 尾西店」を業態転換し、とんかつ専門店「かつたに 一宮尾西店」(7月)を出店いたしました。一方で、「さがみ庭 イオンモール名古屋茶屋店」(4月)、「鹿山食堂」(6月)、「ASIAN LEAF 大手町店」(6月)、「あいそ家キッチン大山田店」(11月)を閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、ベトナムに「水山 ホーチミン高島屋店」(7月)、「JINJIN ホーチミン高島屋店」(7月)を開店した一方、インドネシアでは「SAGAMI プラザスナヤン店」(7月)、タイでは「サガミ SAGAMI Rama3店」(11月)を閉鎖しました。

なお、当第3四半期末での店舗数は42店舗であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,631百万円、営業利益は783百万円、経常利益は839百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は557百万円となり、当第3四半期末のグループ店舗数は264店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、18,679百万円と前連結会計年度末比173百万円の減少となりました。流動資産は前連結会計年度末比213百万円減少し4,961百万円、固定資産は40百万円増加し13,717百万円、流動負債は前連結会計年度末比61百万円減少し3,455百万円、固定負債は536百万円減少し1,408百万円、純資産は424百万円増加し13,815百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日に発表した連結業績予想から修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,978,543	3,769,030
受取手形及び売掛金	187,575	250,105
有価証券	20,352	—
商品及び製品	101,032	112,262
原材料及び貯蔵品	308,523	346,204
繰延税金資産	159,683	114,421
その他	420,063	370,258
貸倒引当金	△809	△809
流動資産合計	5,174,966	4,961,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,962,918	2,076,203
機械装置及び運搬具(純額)	392,387	408,418
土地	6,607,950	6,607,950
その他(純額)	285,027	223,145
有形固定資産合計	9,248,283	9,315,718
無形固定資産		
のれん	871,762	784,647
その他	205,124	218,228
無形固定資産合計	1,076,887	1,002,875
投資その他の資産		
投資有価証券	1,168,757	1,303,728
長期貸付金	129,210	108,142
差入保証金	1,920,778	1,850,616
繰延税金資産	22,703	13,356
その他	119,567	123,503
貸倒引当金	△8,450	—
投資その他の資産合計	3,352,568	3,399,348
固定資産合計	13,677,739	13,717,942
資産合計	18,852,705	18,679,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	680,737	811,993
短期借入金	60,305	—
1年内返済予定の長期借入金	591,528	572,908
未払金	1,182,813	1,239,180
未払法人税等	204,174	106,547
賞与引当金	266,615	91,156
店舗閉鎖損失引当金	2,636	4,495
その他	528,126	629,283
流動負債合計	3,516,937	3,455,564
固定負債		
長期借入金	963,864	538,838
長期未払金	286,489	257,571
株式給付引当金	—	4,623
退職給付に係る負債	6,014	6,056
資産除去債務	411,708	385,825
長期預り保証金	88,824	88,314
その他	187,927	127,101
固定負債合計	1,944,827	1,408,329
負債合計	5,461,765	4,863,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,178,109	7,178,109
資本剰余金	4,280,379	4,280,379
利益剰余金	1,846,906	2,271,781
自己株式	△14,261	△185,831
株主資本合計	13,291,132	13,544,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,950	289,673
為替換算調整勘定	32,124	△19,591
その他の包括利益累計額合計	99,074	270,082
非支配株主持分	733	1,001
純資産合計	13,390,940	13,815,523
負債純資産合計	18,852,705	18,679,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	19,545,586	19,631,101
売上原価	6,069,204	6,060,057
売上総利益	13,476,381	13,571,043
販売費及び一般管理費	12,624,110	12,788,034
営業利益	852,270	783,009
営業外収益		
受取利息	3,321	2,561
受取配当金	22,766	24,084
為替差益	6,439	10,566
雑収入	28,364	25,718
営業外収益合計	60,892	62,931
営業外費用		
支払利息	8,749	5,366
株式交付費	6,122	—
雑損失	3,189	1,192
営業外費用合計	18,060	6,559
経常利益	895,101	839,380
特別利益		
固定資産売却益	300	1,144
投資有価証券売却益	—	3,069
その他	265	—
特別利益合計	565	4,213
特別損失		
固定資産除却損	19,543	21,807
減損損失	124,541	86,920
その他	790	7
特別損失合計	144,876	108,735
税金等調整前四半期純利益	750,791	734,859
法人税、住民税及び事業税	159,696	140,008
法人税等調整額	10,139	37,011
法人税等合計	169,836	177,019
四半期純利益	580,954	557,839
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△497	528
親会社株主に帰属する四半期純利益	581,452	557,310

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	580,954	557,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,855	222,723
為替換算調整勘定	△20,419	△53,006
その他の包括利益合計	34,436	169,717
四半期包括利益	615,391	727,556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	615,256	728,319
非支配株主に係る四半期包括利益	135	△762

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月25日 定時株主総会	普通株式	124,800	5.00	平成27年3月31日	平成27年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は平成27年4月2日付で、アサヒビール(株) 昭和産業(株) (株)愛知銀行 ヤマモリ(株) 旭川駅立売(株) 金印物産(株)から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が874,588千円、資本準備金が874,588千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が7,178,109千円、資本剰余金が4,280,379千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	132,435	5.00	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、「株式給付信託(BBT)」の信託契約に基づき自己株式134,300株の取得を行いました。この取得により自己株式が170,866千円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は185,831千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントは、「外食事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。